



## 夜勤実態調査の取り組みを

今年も夜勤実態調査の時期となりました。すでに、みなさんのところには、調査用紙をお送りしました。『勤務表は個人欄だけ配られているので、他のスタッフの勤務がわからない』とか、『個人情報保護法案の関係で勤務表が手に入りにくい』とか、『職場が忙しくてなかなか取り組めない』などあるとは思いますが、看護師などの労働条件を把握するためにも大切な資料となります。個人情報と言うのならば、個人名を消し個人を特定出来ないようにするなどして入手してください。

この夜勤実態調査は、6月の勤務（予定ではなく、実際の勤務）の病棟配置人員、夜勤日数や夜勤人員を調査します。毎年、若干の病棟配置人員や夜勤人員は増えていますが、夜勤日数には変わりありません。夜勤を改善するためには、夜勤日数を減らす、夜勤時間または週労働時間を減らす、人数を増やすことが大切です。



### 夜勤ガイドライン出たものの…

本社も昨年8月に「看護師の夜勤交代制に関するガイドライン」をだし、“夜勤負担を減らす”としていますが、「8時間勤務を13時間勤務に延ばす提案がされた」や「16時間夜勤を13時間夜勤にするため長日勤ができたが、この長日勤が辛い」など、労働条件の改善につながっていないのではと思える報告もあります。

### 夜勤改善のためには現状の把握が大切

患者さんや利用者さんに安全で安心してもらえる看護を提供するために、そして、私たちが誇りを持って働き続けるための夜勤を改善させるために、まず、現状を把握が大切です。調査のご協力をおねがいします。